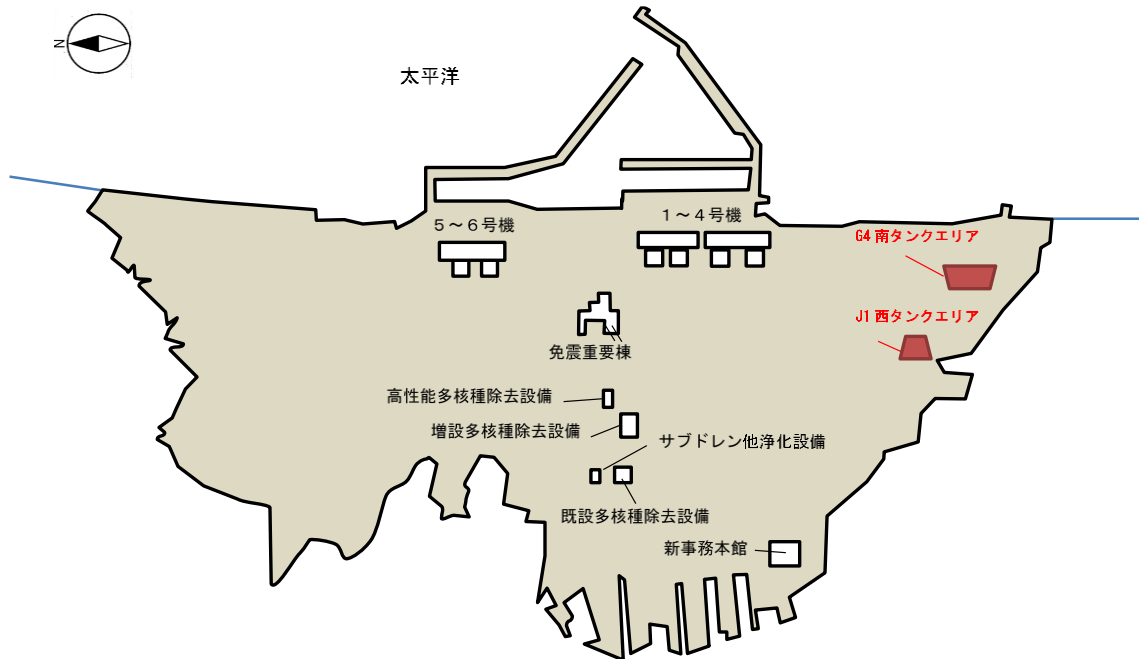


## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和6年6月3日（月）
- 2 確認箇所  
J1西タンクエリア及びG4南タンクエリア（図1）
- 3 確認項目  
ALPS処理水移送ラインにおける漏水通報に基づく現況確認

### 4 確認結果の概要

ALPS処理水の第8回目の海洋放出に向け、G4南タンクエリアC群から測定・確認用設備タンクC群へ移送中（5月10日から移送を実施し、6月上旬に完了予定。）である。調査当日、当該移送ラインにおいて協力企業作業員が漏水を確認したとの通報があったため、漏水箇所であるJ1西タンクエリアの現場対応状況と移送元の対応状況を確認した。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図

### <通報内容>

- ・発見日時： 6月3日 9:24頃
- ・発生場所： J1西タンクエリア（内堰と外堰の間）
- ・現場状況： 配管保温材より漏水が毎秒1～2滴程度滴下
- ・対応状況： 外堰の排水弁を全閉し、漏水のRI測定等を実施。また、当該箇所は、G4南タンクエリアC群からALPS処理水を測定・確認用設備タンクC群へ移送するラインであることを考慮し、移送を10:00に停止。

## <現場での確認結果>

### ① J1 西タンクエリア：漏水現場確認結果

- ・現場到着時には、漏水箇所をビニール袋で覆い、滴下した漏水を回収していた。漏水の性状を確認したところ、移送中の ALPS 処理水そのものではなく雨水と判断されたため、準備が整い次第、カバー及び保温材を剥がして配管の状況を確認するとのことであった。（写真1）
- ※ 移送元の G4 南タンクエリア確認後、再度漏えい対応状況を確認するため J1 西タンクエリアに戻った際にこれら配管保護のカバー及び保温材を剥がした状態も確認したところ移送ライン本体部分の配管からの漏えいはないことが確認できた。（写真2）

### ② G4 南タンクエリア：移送元現場確認結果

- ・漏水の対応状況を確認後、移送元である G4 南タンクエリア内の C 群タンクの対応状況を確認した。
- ・移送用ポンプ（同ポンプ稼働用のディーゼル発電機も併せて）は稼働していない状況であったことを確認した。（写真3）



(写真1①) J1西タンクエリア北側  
原子力規制庁職員も現況を確認中



(写真1②) 漏えい箇所の措置状況



(写真1③) エルボウ付近より滴下



(写真1④) 保護材撤去の準備作業



(写真2①) J1西タンクエリア北側の漏えい箇所  
の保護材を剥がし、配管からの漏えい有無を確認



(写真2②) 移送ライン本体部分の配管からの漏えいがないことを確認



(写真3①) G4南タンクエリア内



(写真3②) C群タンクの移送ポンプ

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。